

土地連、契約拒否も 同意書コピー無返却の場合

土地連、契約拒否も

同意書コピー無返却の場合

来年5月に期限が切れる軍用地の賃貸借契約で、県軍用地等地主会連合会（土地連）の浜比嘉勇会長は9日、防衛省が同意書のコピーを根拠に契約更新しないことを確認してコピーを返却しない場合、契約更新に

応じない可能性を明言した。浜比嘉会長は「来年5月14日以降、法的空白で混乱が生じても責任は持てない」と明言した。土地連はこの日の三役会議で、防衛省からの明確な回答がない場合、来週に政

府へ抗議要請する方針を確認した。

12日午前11時をタイムリミットとし、方針撤回がなければ同日中に沖縄防衛局に抗議。14日に全役員で上京して首相官邸、民主党本部、防衛省などに抗議行動する。県関係国会議員に同行を依頼し、終了後に共同記者会見する考えだ。

防衛省などに抗議へ 土地連 コピー返還拒否に対応

防衛省などに抗議へ

土地連 コピー返還拒否に対応

2012年5月に賃貸借

契約が切れる米軍用地の契約更新をめぐり、防衛省が県軍用地等地主会連合会（土地連、浜比嘉勇会長）

に対し、地主たちの契約同意書の複写（コピー）を根拠に地主から契約更新の意思を示されたと法的に解釈できると示した問題で、土地連は9日、三役会議を開き、来週、沖縄防衛局や防衛省、首相官邸などを訪ね抗議することを決めた。

土地連が沖縄防衛局へ、同意書のコピーを返還するよう求めているが、防衛局が応じられないとの姿勢を

示しているため。

12日に防衛局、14、15日に上京し首相官邸と防衛省、民主党へ抗議する。

土地連は防衛省に対し、コピーを契約更新手続きに使わないよう文書で約束することを求めているが、同省は9日までに態度を示していない。三役会議では、コピー返還などの要求が受け入れられなければ同意書の原本を防衛局側へ提出しないことも決めた。浜比嘉会長は記者団に対し「日米同盟のために協力してきたが、信頼関係が崩壊している」と防衛局側を批判した。